

2019年11月6日,JICA(国際協力機構)研修が始まりました。このJICA研修は広島で開講し,11月下旬に東京へ移動して12月4日に閉講する予定です。

初日は開講式と講義とカントリーレポートが行われました。

午前中の開講式では,JICA中国の三角所長から本研修の理念や目的が説明されました。さらに,CICEセンター長の吉田先生から研修の内容に関する概要と注意事項等のお話があり,最後にCICEの関口研究員による研修全体のスケジュールに関するブリーフィングが行われました。

その後,研修員は主に研修の会場となる広島大学国際協力研究科の建物の屋上へ上がり,紅葉に色づく秋のキャンパスを楽しみました。

昼食を済ませると,吉田先生によるSDG4までに至る国際教育協力の史的変遷,JICAと世界銀行による案件作成過程の相違点をメインに研修員に「考えさせる」ことを意識した講義が展開されました。そこでは,JICA研修の基本理念である知識の協働創造(Knowledge Co-creation)も感じられました。

カントリーレポートでは,それぞれの自国の教育課題を説明するだけでなく,自分の問題関心を織り込んで発表していた研修員もいました。カントリーレポートのセッションは事前に学内に告知されていたため,国際協力研究科の学生を中心に数十名の参加があり,研修員と学生との活発な意見交換が行われました。

